

日语词组与句型手册

中国农业机械出版社

日语词组与句型手册

孙明久 编

李万太 康明桂 校

中国农业机械出版社

日语词组与句型手册

孙明久 编

李万太 廖明佳 校

中国农业机械出版社出版
北京市丰台区阜成路东钓鱼台乙七号

北京鑫源花印厂印刷

新华书店北京发行所发行

新华书店经售

787×1092 32开 14印张 2插 703千字

1985年12月北京第一版 · 1985年12月北京第一次印刷

印数：00,001—24,000 定价：5.00元

统一书号：9216·003

前 言

目前广大读者迫切需要一部比较实用、查起来比较方便的大型日语词组与句型对照辞典，以解决在学习日语和翻译日语资料时所遇到的困难。为了满足读者的要求，我们尝试编写了这部日语词组与句型手册。这部手册共有两万多词条，其中既有一般常用的，也有科技方面的。为了适应各方面读者的需要，也适当地收入了一些成语、谚语和俗语。有些词组注有同义词组、反义词组和接续方法等，以供读者参考。由于我们的水平有限，这部手册中一定有不少缺点和错误，衷心希望读者批评指正。

编 者

1984年8月

使用 方法

一、词头

1. 词头用假名标记，其中的日语汉字用平假名，外来语用片假名。

2. 词头按日语字母表的顺序排列。

3. 使用汉字的词条均在词头后面的方括号“【 】”内标出汉字。

4. 一个词头使用两种以上汉字时，只标出其中一种。

5. 词头中可有可无的字母，写在圆括号“()”内。

二、释义

1. 释义尽量采用现代口语，日语谚语和成语的释义尽可能采用与其相对应的汉语谚语和成语。

2. 科技文章中常用的词组和句型尽量采用专业用语。

3. 一个词条只有一种意义时，即直接标在词头或方括号的后面，中间不用标点。

4. 意义相同和相类似的释义之间用逗号分开。

5. 一个词条有四种以上不同释义时，用①、②、③等加以区分。

6. 上下两个词条意义相同时，则在下词条中标出“同上条”。

7. 同义词组用等号“=”标示，反义词组用箭头“↔”标示。

8. 接续方法和语法说明之前标有星号“※”。

目 录

前言.....	II
使用方法.....	V
手册正文.....	1

あ

ああいふ 那样的, 那种。= ああした, あのような。

ああした 同上条。

ああしろ, こうしろと (强迫) 这样做那样做, 指手划脚地。

ああだこうだ 这个那个, 这么那么, 这呀那呀。

ああのこうの 这个那个, 这样那样, 这也不对那也不对。= ああだこうだ, どうのこうの。

ああまで 竟那样, 竟那么。

あいかわらず【相変らず】 仍旧, 照旧, 还…。= いつもの通り。

あいきょうあふれるばかりだ【愛嬌溢れるばかりだ】 笑容满面。

あいきょうがある【愛嬌がある】 ① 动人, 可爱, 招人喜欢。② 有魅力, 有诱惑力。

あいきょうのある【愛嬌のある】 讨人喜欢的, 可爱的。↔ 愛嬌のない。

あいきょうのない【愛嬌のない】 冷淡的, 不和气的, 不和善的, 没有好感的。↔ 愛嬌のある。

あいきょうものだ【愛嬌ものだ】 真好玩, 挺好玩。

あいきょうをふりまく【愛嬌を振撒く】 ① 对…有好感。② 对…笑容可掬。※ 前接格助词“に”。

あいさつもしないで【挨拶もしないで】 连个招呼也不打就…。

あいさつをかえず【挨拶を返す】 ① 回答。② 回拜。

あいさつをがわす【挨拶を交す】 互相打招呼。

あいずちをうつ【相槌をうつ】 打帮腔, 敲边鼓, 随声附和。

あいぜんこ【相前後】 前后脚, 一前一后。

あいそうがある【愛想がある】 和蔼, 会应酬。↔ 愛想がない。

あいそうがつきる【愛想が尽きる】 不理, 讨厌, 嫌弃, 不搭理。※ 前接格助词“に”。

あいそうがない【愛想がない】 ① 冷淡, 冷冰冰。② 死板, 不会应酬, 不会说话。↔ 愛想がある。

あいそうがよい【愛想がよい】 ① 和蔼可亲。② 善于交际。③ 能说会道。↔ 愛想が悪い。

あいそうがわるい【愛想が悪い】 ① 冷淡, 冷冰冰。② 不善交际, 不会应酬。↔ 愛想がよい。

あいそをいう【愛想を言う】 说恭维话, 说客套话。

あいだがよくい(ゆ)かぬ【間がよく行かぬ】 关系不好。= 関係がうまくゆ(い)かない。

あいたくちがふさがらない【開いた口が塞がらない】 目瞪口呆, 张口结舌。

あいたくちへもち【開いた口へ餅】 福自天来。= あいたくちへばたもち【開いた口へ牡丹餅】。

あいだをおく【間を置く】 留出间隔。あいちゃくがある【愛着がある】 舍不得。

あいちゃくをおぼえる【愛着を覚える】 不能忘怀, 对…依依不舍。= 愛着を持つ。

あいついで【相次いで】 相继, 一个接着一个, 接二连三地。

アイディアとしてだされている 提出某种计划(设想 主意, 办法)。

あいてがおかしてこなければ, こちらもおかさない【相手が犯してこなければ, こちらも犯さない】 人不犯我, 我不犯人。

あいてがない【相手がいない】 ① 没伴儿。② 没对手。

あいてにきつく【相手に食いつく】

振往对方。

あいてにしてくれない【相手にしてくれない】 ①不理，不搭理。②不与共事。※前接格助词“を”。

あいてにしない【相手にしない】 同上条。

あいてにできる【相手にできる】 敢得…。※前接格助词“を”。

あいてにとってふそくのないてきだ【相手にとって不足のない敵だ】 横逢对手，将遇良才。

あいてになつていられない【相手になつていられない】 ①改工失運…。②改工失管…。

あいてにならぬ【相手にならぬ】 不是对手。

あいてになる【相手になる】 和…周旋。

あいてのいこうをさぐる【相手の意向を探る】 探探对方的口气，摸摸对方的心思。

あいてのはらをよみながらいがみあう【相手の腹をよみながら啮合う】 勾心斗角。

あいてをおとし入れる【相手を陥し入れる】 陷害对方。

あいてをそじみあがらせる【相手を縮み上がらせる】 让对方发抖。

あいにおぼれる【愛に溺れる】 溺爱。

あいのてをいれる【合いの手を入れる】 ①助兴。②加过门。

あいまいなことをいう【曖昧なことを言う】 含糊其辞，模棱两可。

あいらしいかおつきをしている【愛らしい顔つきをしている】 长得挺撩人，长得挺招人喜欢。

アイロンをかける ①熨衣服。②烫发。

あいをうしなう【愛を失う】 失宠。

あうはわかれのはじめ【逢うは別れの始め】 有聚必有散。

あえて…あたらない【敢て…当らない】 不必特别…，不必故意…。※前接“には”。

あえて…およばない【敢て…及ばない】 不必…，用不着…。※前接“には”。

あえて…ではない【敢て…ではない】

①未必…，不见得…。②毫…。= あえて…ない。※前接体言或体言性词组。

あえて…ない【敢て…ない】 同上条。

あえて…なら【敢て…なら】 胆敢…。

あえて…にはたらない【敢て…には足らない】 不足为…，毫…不值得…。

あおいきをつく【青息を吐く】 ①嗟声叹气，长吁短叹。②一筹莫展。= 青息吐息を吐く。

あおすじをたてる【青筋を立てる】 青筋暴脱。

あおなしお【青菜に塩】 无精打采，垂头丧气，沮丧，精神萎靡。

あおにさい【青二才】 毛孩子，黄口孺子。

あおはあいよりいでてあいよりあおし【青は藍より出でて藍より青し】 青出于蓝而胜于蓝。

あおむけにたおれる【仰むけに倒れる】 摔个仰面朝天，摔个仰八叉。

あかがつく【垢がつく】 ①踏上海泥。②长水锈。

あがきがつかぬ【足掻がつかぬ】 进退两难，进退维谷。= 一筹莫展。= 足掻が取れぬ。

あかくなる【赤くなる】 ①赤化。②面红耳赤。

あかこうでをねじる【赤子の腕をねじる】 不费吹灰之力，易如反掌。

あかじをうめる【赤字をうめる】 弥补亏空。

あかじをだす【赤字を出す】 出现赤字，入不敷出。

あかしをたてる【証を立てる】 作证，证明，见证。

あかつきをつける【曉を告げる】 报晓。

あかのたにん【赤の他人】 陌生人，毫无关系的人。

あかはじをかく【赤恥をかく】 出丑，丢脸，现眼，当众出丑。= あかはじをさらす。

あかはじをさらす【赤恥を晒す】 同上条。

あかみのにく【赤みの肉】 瘦肉。

あからさまにいう【明説、直説、公开、地说、直截了当地说】

あかりがたつ【明が立つ】①证明清白。②昭雪。=あかりをたてる。

あかりがはやい【上りが早い】①走得快。②升得快。③进步得快。

あかりをけず【明りを消す】熄灯。→明りをつける。

あかりをつける【明をつける】点灯、开灯。→明りを消す。

あかるみにだす【明るみに出す】①把…公开。②把…揭露出来。※前接格助词“を”。

あかるみにでる【明るみに出る】①表面化。②显露出来。

あかをおとす【垢を落す】去掉污垢、去去泥儿。→

あかをながす【垢を流す】去掉身上的泥儿、冲冲身上的泥儿。

あかん 不行、不成。

あきがあったら【空があったら】如果有空、有工夫、有时间。=あきができたら。

あきがきた【厭が来た】厌烦、腻歪。※表示对…厌烦时前接格助词“に”。

あきかぜをふかす【秋風を吹かす】冷淡起来。

あきたりない【飽足りない】①不饱。②不满足。③不称心。④不解恨。=飽足らぬ。

あきのくれ【秋の暮れ】秋末。

あきのそら【秋の空】容易变心。

あきらかなしょうこがいくらでもある【明らかな証拠がいくらでもある】铁证如山。

あきらかになった【明らかになった】清楚了。明白了。

あきらかにべてんだ【明らかにべてんだ】显然是个骗局。

あきらめがいい【諦めがいい】①开朗、开通、达观、想得开。②死心、断念。=思い切りがいい。

あきらめがつかない【諦めがつかない】①想不开。②不死心。

あきらめがつく【諦めがつく】①想得开。②死心。

あきらめがわるい【諦めが悪い】①想不开。②不死心。

あきるほどくう【飽きるほど食う】吃个饱、吃个够。

あきれたはなしだ【呆れた話だ】不象话。

あきれてものもいえない【呆れてものも言えない】吓得哑口无言。

あきをうめる【空を埋める】填空白。

あきをつくる【空をつくる】腾出空来、腾出工夫。

あくいにとる【悪意に取る】往坏里想、往坏的方面解释。

あくいにみえる【悪意に満ちる】充满恶意的。

あくいをいだく【悪意を抱く】不怀好意、居心不良。=悪意を持つ。

あくいをもち【悪意を持つ】同上条。

あくがつよい【仄汗が強い】非常俗气、俗气十足。

あくぎゃくむどう【悪逆無道】大逆不道。

あくじせんりをつたう【悪事千里を伝う】坏事传千里。

あくじせんりをはしる【悪事千里を走る】同上条。

あくしゃのあつまり【悪者の集り】一群坏蛋。

あくしゅうがみにつく【悪習が身につく】养成恶习、养成坏习惯。

あくしゅしようとする【搦手しようとする】①想同…搦手。②想同…合作。※前接格助词“と”。

あくじをおこなう【悪事を行う】干坏事儿、为非作歹。=あくじをはたらく。

あくじをかさねる【悪事を重ねる】同上条。

あくじをはたらく【悪事を働く】干坏事儿、为非作歹。

あくせいはなつ【悪声を放つ】诽谤、说坏话、散布流言蜚语。

あくたいをつく【悪態をつく】破口大骂。

あくどいいたすら【あくどい悪戯】恶作剧。

あくにそまる【悪に染まる】 沾染悪習。
 あくにとる【悪に取る】 往坏里想。= あくいにとる。
 あくにつよい【悪に強い】 无恶不作。
 あくにんがはびこる【悪人がはびこる】 坏人横行。
 あくにんにてをかす【悪人に手をかす】 为虎作伥。
 あくにつよい【灰汁の強い】 非常俗气，俗里俗气。= あくがつよい。
 あくのぬけた【灰汁の抜けた】 文雅的，风雅的。
 あくばをあびせる【悪罵を浴せる】 把…痛骂一顿。
 あくばをあびる【悪罵を浴る】 挨一顿痛骂。
 あくびのでるような【欠伸の出るような】 令人厌烦的。
 あくびばかりでる【欠伸ばかり出る】 都感到厌烦，都感到没趣。
 あくへいつずきだし【愚弊続出し】 弊病百出。
 あくまで(も)【飽まで(も)】 到底，究竟，到了儿。= どこまでも。
 あくまであらそって【飽まで争って】 力争…。
 あくまでかんばる【飽まで頑張る】 坚持到底。
 あくまで…をつづける【飽まで…を続ける】 把…坚持到底。
 あくめいがたかい【悪名を高い】 臭名昭著，臭名昭彰。
 あくをいだく【悪を抱く】 没安好心，居心不良，心术不正。
 あくをかさねる【悪を重ねる】 为非作歹。= 悪事を行う。
 あげあしをとる【揚げ足を取る】 找错，抓辫子，抓短处，吹毛求疵。
 あげきれないほど【挙切れないほど】 举不胜举，不胜枚举。
 あげくのはてに【挙句の果てに】 最后终于…，到了最后…。= おわりになつて。
 あげさげをとる【上げ下げを取る】 又褒又贬。= あげたりさげたりする。

あけすけに【明け透けに】 实打实地。
 あけすけにいえば【明け透けに言えば】 干脆说 坦率地说，不客气地说。
 あけすけにいうと【明け透けに言う】 同上条。
 あげたりさげたりする【上げたり下げたりする】 又褒又贬。= あげさげをとる。
 あけて【明けて】 过了年，转过年。= 年が明けて。
 あけにそまる【朱に染まる】 满身是血。
 あごがおちる【顎が落ちる】 格外好吃，味道鲜美。
 あごがひあがる【顎が干上る】 无法生活，无法糊口。= 口が干上る。
 あごぎなことをする 厚脸皮，死乞百赖，贪得无厌。
 アコーディオンをひく 拉手风琴。
 あごでつかう【顎で使う】 颐使，待人傲慢。
 あごをだす【顎を出す】 疲劳不堪，精疲力尽。
 あごをなでる【顎を撫でる】 洋洋得意，怡然自得。
 あごをはずしてわらうな【顎を外して笑うな】 别笑掉下巴(大牙)。
 あさおきはさんものとか【朝起は三文の徳】 早起三朝胜一工，早起好处多。
 あさがおのはないつとき【朝顔の花一時】 好景不常，昙花一现。
 あさがけのだちん【朝顔の駄賃】 轻而易举，如探囊取物。
 あさからぶっとおしてはたらく【朝からぶっとおして働く】 从早晨一直不停地工作。
 あさせにのりあげる【浅瀬にのり上げる】 搁浅。
 あさはかなかんがえをおこす【浅はかな考えを起す】 寻短见。
 あさぶるたんぜんながひばち【朝風呂丹前長火鉢】 舒适生活。
 あさまいすがた【浅ましい姿】 可怜相，一副可怜相。
 あさめしまえだ【朝飯前だ】 现成，好

办，容易，易如反掌，轻而易举。
 あしちをとたどってゆく【足跡を追って行く】 追踪。
 あしおとをぬすむ【足音を盗む】 蹑手蹑脚。
 あしがあがる【足が上る】 ①失群。②失掉依靠。
 あじがある【味がある】 有滋味。
 あじがいい【味がいい】 味道不错，味道挺好。
 あしがおそい【足が遅い】走得慢。=足の運びが遅い，足が鈍い。
 あしがおもい【足が重い】腿沉，走不动。
 あしがかかる【足が軽い】腿快，走得快。=足が早い。↔足がおそい。
 あしがすまない【足が進まない】懒得走。
 あしがすばしこい【足がすばしこい】腿脚利落。=足がたっしやた。
 あしかせになる【足枷になる】成了累赘，被…累住了。
 あしがたっしやだ【足が遑者だ】健步，腿脚利落。=足がすばしこい。
 あしがだるくなる【足がだるくなる】腿软，腿都酸了。
 あしがちにつかぬ【足が地につかぬ】①站不稳。②心神不定。
 あしがつく【足が付く】找到线索，找到踪迹，有了头绪。
 あしがでる【足が出る】①赔钱，拉弓空。②露馅儿了，露出马脚。=足を出す。
 あじがない【味がない】①没味。②乏味。
 あしがはやい【足が速い】健步，走得快。=足がかかるい。
 あしがひきつる【足が引攣る】腿抽筋。
 あしがふらつく【足がふらつく】步履蹒跚，腿脚不灵便。
 あしがばろになる【足が棒になる】腿都直了，两条腿象棍儿似的，累得两条腿发直。
 あしがぼうのようになる【足が棒のよ

うになる】同上条。
 あしがむく【足が向く】信步所至，不知不觉地走去。
 あしからず【悪しからず】请原谅，不要见怪。
 あしがらみをかける【足綱をかける】下绊儿，使绊儿。
 あじがわからない【味がわからない】不懂…的妙处(滋味，趣味)。
 あじなこと【味な事】妙语。
 あしなみがそろわない【足並みが揃わない】①步调不一致，各打各的鼓各敲各的锣。②看法有分歧。
 あしにまかせてあるく【足に任せて歩く】信步而行。=足のむくままに歩く。
 あしのおきばもない【足の置場もない】连个下脚的地方都没有。=あしのふみばもない。
 あしのこう【足の甲】脚面。↔あしうら。
 あしのつちふまず【足の土ふまず】脚心。
 あしのつめ【足の爪】脚指甲。
 あしのふみばもない【足の踏み場もない】连个下脚的地方都没有。=足のおきばもない，足のふみところもない。
 あしのむくままにあるく【足の向くままに歩く】信步而行，随便溜达。
 あしのゆび【足の指】脚指头。
 あしのよわい【足の弱い】(漆等)不粘。
 あしふみをする【足踏をする】踏步。
 あしもそっけもない【味も素気もない】乏味得很。
 あしもとがあぶない【足下が危い】步履蹒跚。=足がふらつく。
 あしもとからとりがたつ【足下から鳥が立つ】①事出突然。②迅雷不及掩耳。③急不可待。
 あしもとにひがついたようにせきたてる【足下に火がついたように急立てる】一个劲地催促。
 あしもとにひがつく【足下に火がつく】大祸临头。

あしもともにおよばない【足下にも及ばない】 跟不上。

あしもとをみる【足下を見る】 抓短处。

あしもとをよくみる【足下をよく見る】 留神脚底下。

あしをあらう【足を洗う】 ①洗手不平, 放邪归正。②摆脱某种境遇。

あしをいれる【足を入れる】 ①走入。②插足。

あしをうばわれる【足を奪われる】 ①被法走了。②没法上班了。

あしをおぼえる【味を覚える】 尝到甜头; 得到便宜。= 味を占める。

あじをかみわけ【味を噛分ける】 品滋味。

あしをこする【足を擦する】 搓脚。

あしをちにつける【足を地につける】 脚踏实地。

あじをしめる【味を占める】 尝到甜头, 得到便宜。= あじをおぼえる。

あしをだす【足を出す】 花专了, 拉专空。

あしをつける【足をつける】 挂上钩。断关系。

あじをつける【味をつける】 调味。

あしをなげだす【足を投出す】 伸出脚。

あしをぬく【足を抜く】 断绝关系。

あしをひきずるようにして【足を引摺るようにして】 拖着两条腿。

あしをひっぱる【足を引張る】 拖后腿。

あしをふみだす【足を踏み出す】 迈开脚。

あじをみる【味を見る】 尝尝味道; 尝尝成色。

あじをやる【味をやる】 干得漂亮。

あしをゆるめる【足を緩める】 放慢脚步, 放慢步伐, 放慢速度。

あずかってちからがある【与って力があつて】 起作用, 对…有帮助。

あずかりしところではない【与り知るところではない】 与…无关, 和…没有关系。

あすはあすのかぜをふく【明日は明日の風を吹く】 明天再说明天的。

あせがあめのようにながれる【汗が雨のように流れる】 汗流如雨。= 汗みずくになる。

あせがしとしとながれる【汗がしとしと流れる】 汗津津的。

あせがしみこんだ【汗が染込んだ】 浸透了汗水。

あせがでる【汗が出る】 出汗, 流汗。

= 汗を垂す; あせをかく。

あせがながれる【汗が流れる】 同上条。

あせみずくになって【汗みずくになって】 汗流如雨地, 不辞辛苦地。

= 汗みどろになって, あせみずたらして。

あせみどろになって【汗みどろになって】 同上条。

あせらずいそがず【焦らず急がず】 不愈不躁。

あせるにはおよびぬ【焦るには及ばぬ】 不用着急。

あせるのをいましめる【焦るのを戒める】 戒躁。

あせをかく【汗をかく】 出汗, 出冷汗。

あせをたらして【汗を垂して】 辛勤地, 不辞辛苦地。

あせをにぎる【汗を握る】 担心, 担惊, 紧张, 握一把汗。

あせをぬぐう【汗を拭う】 揩汗, 擦汗。= 汗をふく。

あせをふく【汗をふく】 同上条。

あそびがすきだ【遊が好きだ】 好闹, 好赌。

あそびにきをとられる【遊に気を取られる】 竟食玩, 专好玩。

あそびによねんがない【遊に余念がない】 同上条。

あそんでいるかねがある【遊んでいる金がある】 有闲钱, 有宽余钱。

あそんでいると【遊んでいる土地】 休闲地, 闲着的土地, 荒地。

あそんでくらう【遊んで食う】 游手好闲。

あたひがある【値がある】 值得…。=

…に値する。↔値しない。※前接格助詞“の”或动词连体形。

あたいしない【値しない】 不值得…。

= あたいもない。※前接格助詞“に”。

あたいもない【値もない】 不值…，不值得…。= あたいしない，価値もない。

あたいをつける【値をつける】 ①定价。②给价。③还价。

あたいをふむ【値を踏む】 估价。= 値を見つめる。

あだかえしをする【仇返しをする】 报仇，报复。

あたかも…のごとし【恰も…の如し】 仿佛…似的，好象…似的，宛如…。

= あたかも…のようだ，あだかも…のどうようだ。

あたかも…のどうようだ【恰も…の同様だ】 同上条。

あたかも…のようだ【恰も…の様だ】 仿佛…似的，好象…一样，宛如…。

あたかもよし【恰もよし】 恰好。

あだくちばかりたたく【徒口ばかり叩く】 净说空话。= むだくちばかりたたく。

あだことばかりしている【徒言ばかりしている】 净说空话，净说废话。

あたってください【当って砕ける】 冒险，试试看，碰碰运气。

あだなをつける【渾名をつける】 起外号，起绰号。

あだになる【仇になる】 落埋怨。

あだになる【徒になる】 白费，落空。= むだになる。

あたもうちのじょうたいだ【頭打の状態だ】 达到顶点，达到最大限度。= 頭打だ。

あたまががらない【頭が上らない】 受压，抬不起头来。

あたまがよい【頭がよい】 脑筋好，头脑清楚。↔頭が鈍い。

あたまがおかしい【頭が可笑しい】 精神不正常。

あたまがおもい【頭が重い】 头沉，头重。= 頭がぐらつく。

あたまがかたい【頭が固い】 死脑筋，

脑筋顽固。

あたまがからっぽだ【頭が空っぽだ】

没脑筋。

あたまがきれる【頭が切れる】 脑瓜儿好使，脑筋灵活。

あたまがくうきよになる【頭が空虚になる】 头脑空虚，脑袋空空如也。

あたまかくしてしりかくさず【頭隠して尻隠さず】 ①藏头露尾。②欲盖弥彰。

あたまがくらくらしている【頭がくらくらしている】 头晕。= 頭が重い。

あたまがぐらぐらしている【頭がぐらぐらしている】 头晕，头昏眼花。

あたまがぐらつく【頭がぐらつく】 头晕。

あたまがこんがらかる【頭がこんがらかる】 脑筋混乱，头脑不清楚。↔あたまがさえている。

あたまがさえている【頭がさえている】 头脑清醒。↔あたまがこんがらかる。

あたまがさがる【頭が下がる】 钦佩，佩服。※前接格助詞“に”。

あたまがすばしい【頭がすばしい】 脑筋灵活，思想敏捷。↔頭がとぼける。

あたまがするどい【頭が鋭い】 同上条。

あたまがたかい【頭が高い】 傲慢，无礼，自高自大。↔頭がひくい。

あたまがとぼける【頭がぼける】 脑筋迟钝，脑袋不好使。↔頭がすばしい。

あたまがにぶい【頭が鈍い】 同上条。

あたまがひくい【頭が低い】 ①谦虚。

②恭敬。↔頭がたかい。

あたまがふらふらする【頭がふらふらする】 头晕。= 頭がくらくらしている。

あたまがふるい【頭が古い】 旧脑筋，思想守旧。= 頭がきゅうしきだ。

あたまがぼんやりする【頭がぼんやりする】 脑袋迷迷糊糊，脑袋不好使了。

= 頭がぼける。

あたまがまわる【頭が廻る】 脑筋灵

話。＝頭がするどい。

あたまがやめる【頭が病める】 头疼。

＝あたまがいたい、あたまががんが
んする。

あたまがようする【頭が要する】 费脑筋。

あたまから【頭から】 ①开头，一开始。

②完全，根本。

あたまからきこうとしない【頭から聞
こうとしない】 根本不听。

あたまから…ない【頭から…ない】 完
全不…，根本不…。

あたまからみずをあびたよう【頭から
水を浴びたよう】 如冷水洗头。

あたまからゆげをたてておこる【頭か
ら湯気を立てて怒る】 冲冲大怒。

あたまかられいすいをあびる【頭から
冷水を浴びる】 冷水洗头。

あたまごなし【頭ごなし】 不问情由，
不容分说，不分青红皂白。

あたまでっかちりつばみ【頭でっか
ち尻つばみ】 虎头蛇尾。

あたまにおいていない【頭においてい
ない】 不放在心里，不放在心上。

あたまにおく【頭に置く】 放在心上，
放在心上。

あたまにくる【頭に来る】 上头，上
脑。

あたまにしもをいただく【頭に霜を戴
く】 头发变白。

あたまにひやみずをあびせる【頭に冷
水を浴せる】 冷水洗头。＝あたま
から水をあびる，あたまにひやみず
をかぶる。

あたまのいる【頭の要る】 费脑筋的。
＝あたまのようする。

あたまのきりかえをする【頭の切换を
する】 换脑筋，洗脑筋，改变思想。

あたまのさんまんな【頭の散漫な】 粗
心的，马虎的，马马虎虎的。

あたまのてっぺんからつまさきまで
頭の天辺から爪先まで】 全身，从
头到脚。＝頭の天辺から足の先ま
で。

あたまのはたらきがわるい【頭の働き
が悪い】 脑筋慢，脑筋不灵敏。

あたまのかいてんがにぶい。

あたまのほかにおきざりにする【頭の
外に置き去りにする】 把…抛在脑后。

あたまのめぐりがはやい【頭の巡りが
早い】 脑筋转得快。＝あたまのか
いてんがはやい。

あたまをあげる【頭を上げる】 抬头，
露头角，势力大了。＝あたまをもた
げる。

あたまをいためる【頭を痛める】 伤脑
筋。

あたまをおろす【頭を落す】 落发为
僧。

あたまをかかえてにげる【頭を抱えて
逃げる】 抱头鼠窜。

あたまをかく【頭を掻く】 ①挠头。

②事情很挠头，不好办。

あたまをかる【頭を刈る】 剪头，理发。

あたまをさげる【頭を下げる】 ①鞠躬，行礼。＝お辞儀する。②认输，屈服。＝屈服する。③钦佩，佩服。＝感服する。

あたまをさしだす【頭を差出す】 伸
头，探头探脑。

あたまをすっきりさせる【頭をすっきり
させる】 使头脑清醒过来。

あたまをちにつける【頭を地につける】
低头。

あたまをつかう【頭を使う】 劳心，费
脑筋，用脑子，动脑子。

あたまをつっこむ【頭を突込む】 ①参
与，干涉。②干涉。

あたまをなやます【頭を悩ます】 焦
虑，苦脑，伤脑筋。

あたまをはたらかす【頭を働かす】 动
脑筋，动脑筋。＝智慧を働かす。

あたまをはたらかせる【頭を働かせる】
同上条。

あたまをはねる【頭をはねる】 揩油，
提成，抽头。

あたまをひねる【頭を捻ねる】 ①左思
右想，煞费苦心。②扭过头来(去)。

あたまをふるのはひいて、うなずく
のはこうていだ【頭を振るのは否定
で、頷くのは肯定だ】 摇头不算点
头算。

あたまをまるめる【頭を丸める】①剃頭。②削发为僧。

あたまをめぐらす【頭を巡らす】①动脑筋，想办法。②回过头来。

あたまをもちあげる【頭を持上げる】①得势，抬头，出人头地。

あだにときをすごす【徒に時を過す】虚度光阴。=むだに時を過す。

あだになる【徒になる】落空，一场空，白费，白费劲了。=むだになる。

あだにむくいるにとくをもつてする【仇に報いるに徳を持ってする】以德报怨。

あだやおろそかにおもう【徒や疎かに思う】①轻视，不把…当一回事儿。②疏忽…。※前接格助词“を”。=あだやおろそかにおもう。

あだやおろそかに…ではない【徒やおろそかに…ではない】并不是白…。

あたらしいさをふるいかわぶくろにはいる【新しい酒を古い皮袋にはいる】旧皮囊装新酒，旧形式新内容。

あたらずといえどもとおからず【当らずと言えども遠からず】虽不中己，不远矣。

あたらぬ【当らない】①不必…，用不着…。=…には及ばない，…必要がない。②不恰当，不中肯。

あたりない【当らない】①不必…，用不着…。=…には及ばない，…必要がない。②不恰当，不中肯。

あたりいちめん【辺り一面】这块儿满是…，这一带都是…。

あたりがついた【当りがついた】有着落了，有头绪了，有线索了。↔当りがつかない。

あたりがない【当りがない】没有指望。

あたりがはずれる【当りが外れる】①落空。②失望。

あたりかまわず【辺り構わず】旁若无人。=辺りに人もなげに。

あたりがよい【当りがよい】待…好，对待…好。↔あたりがわるい。

あたりがわるい【当りが悪い】对…不好，待…不好。※前接格助词“に”。

あたりさわりはあるまい【当り障りはあるまい】①不会得罪…吧。②不会对…有妨碍吧。※前接格助词“に”。

あたりにきをくばる【辺に気を配る】

四下里张望。

あたりにする【当りにする】指望，期望。※前接格助词“を”。

あたりにできる【当りにできる】信得过，靠得住。

あたりにひとみなげに【辺りに人も無気に】旁若无人。=辺りかまわず，

辺りに人なきが如く。↔

あたりの【辺の】…之类的，…之流的。

あたりまえなら【当り前なら】照理说，本应该。

あたりまえのこと【当り前のこと】①平常的事。②该做的事。

あたりをみせる【当りを見せる】得心应手。

あたりをみまわす【辺を見廻す】左顾右盼。

あたるをさいわい【当るを幸】顺手，随手。

あだをおんでむくいる【仇を恩で報いる】以德报怨。

あだをむくいる【仇を報いる】报仇。

あちこちかりまわる【あちこち借りまわる】东摘西借。

あちこちさがす【あちこち捜す】东翻西找。

あちこちつぎはぎして【あちこち継接して】东拼西凑。=あちらこちらからよせあつめて。

あちこちにゆきかう【あちこち行交う】南来北往。

あちこちほんそうする【あちこち奔走する】东跑西颠，东奔西走。

あちらたてればこちらたたぬ【あちら立てればこちら立たぬ】顾得了这个顾不了那个，不能使双方都满意。

あちらにつきこちらにつく【随風倒，骑墙派】。

あついおもい【熱い思い】热心。

あついなかだ【熱い仲だ】打得火热。

あつかましげにみえる【厚かましげに兒える】无耻，厚脸皮，不要脸。

あっけにとられる【呆氣に取られる】惊呆，吓得目瞪口呆。

あっさりびょうしゃする【あっさり描

写する】轻描淡写。

あっせんのろうをとる【鞍旋の労を取
る】为…进行鞍旋。

あつたとおり【あつた通り】照实，据
实，真实地，实事求是地。

あつてはならない 不会有，不可能有。

あつても 尽管有…，即使有…。

あつてもないのとおなじだ【あつても
ないのと同じだ】①有没有一样。

②形同虚设。

あつてもなくてもよい 可有可无。

あつというまに【あつという間に】转
瞬间，一眨眼工夫。

あつといわせる【あつと言わせる】①
令人吃惊。②叫人吓一跳。③令人感
叹。

あつとばかりに 啊地一声，呀地一
声。

あてがいをする【宛行をする】供给，
分配。※前接格助词“の”或动词连体
形。

あてがはずれる【当が外れる】①失
望，指望落空了。②精打算盘。=あ
てごとが外れる。

あてこずりをいう【当据りを言う】讽
刺挖苦，冷嘲热讽，指桑骂槐，冷言
冷语。

あてごとがはずれる【当事が外れる】
失望，指望落空了。=あてがはずれ
る，あたりがはずれる。

あてにしている【当にしている】指
着的，指望着的。

あてにする【当にする】①指望，期
待。②相信。※前接格助词“を”。

あてにできる【当にできる】可靠，靠
得住，信得过。=あてになる。

あてにならない【当にならない】不可
靠，靠不住。↔あてにできる。

あてになる【当になる】可靠，靠得
住，信得过。

あてもなく【当もなく】毫无目的地，
盲目地，毫无目标地。

あとあしですなをかける【後足で砂
をかける】①走后给人留下麻烦。

②过河拆桥。

あとあしをあたえる【後味を与える】

给…留下印象。

あとあしをひっぱる【後足を引張る】
拖…的后腿。

あとあとのところ【後後のところ】后
来，以后，很久之后。

あとあとまで【後後まで】到了后来，
日后。

あとおしをする【後押をする】①从后
面推。②背后挑唆。③撑腰。

あとがたえる【後が絶える】断后，绝
后，绝户。

あとかたもない【跡形もない】没影，
没边，没根据。

あとがない【跡がない】没有…迹象，
没有…根据。

あとがみえない【跡が見えない】看不
出有…的迹象。

あとから【後から】随后，跟着。

あとからあとからと【後から後からと】
接连不断地。

あとからあとへとつづく【後から後へ
と続く】前赴后继。

あとさきかまわず【後先構わず】冒
失，鲁莽，毛毛愣愣，顾前不顾后。

あとさきになる【後先になる】本末倒
置，本末颠倒。=後先見ずに。

あとさきのことをあれそれとおそれて
はならない【後先のことをあれそれ
と恐れてはならない】不要前怕狼
后怕虎的。

あとさきみずに【後先見ずに】本末倒
置，本末颠倒。

あとさきをかながえて【後先を考えて】
经过考虑之后…。

あと…すれば【後…すれば】再过…。

あとだてがある【後盾がある】有靠
山，有后盾。

あとで【後で】①后来，随后，回头。
②等着吧。

あとに【後に】①以前。②以后。

あとのがりがさきになる【後の雁が先
になる】后来者居上。

あとのしまつ【後の始末】处理善后，
收拾残局。

あとのまつり【後の祭】马后炮，贼走
关门，雨后天送伞，…也晚了，…也落

不及了。
 あとのまつりだ【後の祭だ】 同上条。
 あとはのとなれやまとなれ【後は野となれ山となれ】 不管以后如何，不顾后果如何。
 あとへすわる【後へすわる】 接替…的工作。
 あとへひかない【後へ引かない】 不服气。
 あとへもさきへもいかぬ【後へも先へも行かぬ】 进退维谷，进退两难。
 あとまわしにする【後回しにする】 缓办，暂时先搁一搁，放放再说。
 あとをおう【跡を追う】 ①追赶，追逐。②追随。③仿效。④追踪。
 あとをかくす【跡を隠す】 躲起来，藏起来。
 あとをくらす【跡を晦ます】 潜逃，匿迹。
 あとをたつ【跡を絶つ】 绝迹。
 あとをつける【跡をつける】 ①追踪，跟踪。②留下痕迹。
 あとをにごす【跡を濁す】 留下劣迹。
 あとをひく【跡を引く】 ①不够，不灰。②没完，没完没了。
 あとをもらう【後を貰う】 续弦，娶后妻。
 あとをやめない【跡をやめない】 不留痕迹，没有痕迹。
 あながあったらはいりたい【穴があったら入りたい】（羞得）有个地缝都想钻进去，羞得无地自容。
 あながち…ない【強ち…ない】 未必…，不见得…，不一定…。= あえて…ない，必ずしも…ない。
 あなどりがたい【侮りがたい】 …不容轻视。
 あなにはいたいここちがする【穴に入りたい心地がする】 羞得无地自容，真想钻进地缝里。
 あなのあくほどみつめる【穴のあくほど見詰める】 凝视，盯着瞧。
 あなのあくほどみる【穴のあくほど見る】 同上条。
 あなをあける【穴をあける】 ①打眼，穿孔，挖洞。②拉弓空。

あなをさがす【穴を探す】 找错儿，找碴儿，抓辫子。
 あのぐらい【あの位】 那样，那么，那么一点。
 あのしつれいですが…【あの失礼ですが…】 对不起，我想(要)…。
 あのちょうしで【あの調子で】 看情况，看情形，看样子。
 あのまま 如实地，真实地，据实地，实事求是地，原封不动地，仍旧，照旧。
 あのように 那样，那般。
 あぶないつなわたりをする【危い綱渡りをする】 冒险。= あぶないつなわたりをやる。
 あぶないところで…をまぬがれる【危いところで…を免れる】 险些…，差一点没…。= あぶなく…ところだった。
 あぶないめにあう【危い目にあう】 遇到危险。
 あぶなく…ところだった【危く…ところだった】 险些没…，差一点没…。
 あぶらがきれる【油が切れる】 没劲了。
 あぶらがのる【油が乗る】 ①上劲，起劲，来劲。②发胖，上膘儿。
 あぶらがみにひのついたよう【油紙に火の付いたよう】 口若悬河。
 あぶらにみず【油に水】 水火不相容，冰炭不相容。
 あぶらをうる【油を売る】 ①偷盗，磨蹭，磨洋工，磨时间。
 あぶらをさす【油を差す】 ①打气，鼓励。②加油，膏油。
 あぶらをしほられる【油を絞られる】 被…训了一顿。※前接格助词“に”。
 あぶらをしほる【油を絞る】 谴责，训斥，申斥，教训。
 あぶらをそそぐ【油を注ぐ】 ①唆使，煽动。②加油。
 あふれるばかりのねつじょう【溢れるばかりの熱情】 满腔热情。
 あほうぐちをする【阿房口をする】 说蠢话，说糊涂话。
 あほうなことをする【阿房なことをす